DWGTOXX/DXFTOXX 簡易マニュアル

Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部
〒221-0056
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル
TEL：045-442-0500　FAX：045-442-0501
URL：https://www.kernelcomputer.co.jp

特　　長

- R12J、R13J、R14J、AutoCAD 2000 形式、AutoCAD 2004 形式のデータに対応しています。
  ただし、AutoCAD2004 以降で追加された図形には対応していません。
- コマンドラインから入出力ファイル名をキーインする事で実行されます。(標準入出力が利用可能)
- 実行時各入出力フォーマットの属性パラメータやオプションパラメータを設定できます。
- AutoCAD が持っているフォント名称(Windows Font)を指定して、文字パターン生成が可能。
  (ＭＳ明朝、ＭＳゴシックなど)

変 換 機 能

- 図面方向を回転します。
- 指定された用紙サイズにスケールで拡大・縮小します。
- 任意のスケールで拡大・縮小します。
- バッチファイルで指定されたファイル又はディレクトリ内のファイルを一括処理します。
- その他

製 品 一 覧

製品名	機　　能	標準価格(税抜き)
DWGTOGB	DWG ⇒ GERBER 変換	20 万円
DXFTOGB	DXF ⇒ GERBER 変換	20 万円
DWGTOH2	DWG ⇒ HP-GL2 変換	20 万円
DXFTOH2	DXF ⇒ HP-GL2 変換	20 万円
DWGTOHP	DWG ⇒ HP-GL 変換	15 万円
DXFTOHP	DXF ⇒ HP-GL 変換	15 万円
DWGTOPST	DWG ⇒ PostScript/PDF 変換	20 万円
DXFTOPST	DXF ⇒ PostScript/PDF 変換	20 万円

動 作 環 境

機　　種	ＯＳ
UNIX	Solaris9 以降(SPARC), HP-UX11i V2 以降, AIX6.1 以降
Windows 版	7, 8, 8.1, 10, 11 Server 2008, Server 2008 R2, Server 2012, Server 2012 R2, Server 2016, Server 2019, Server 2022, Server 2025
LINUX	RHEL4 以降あるいはそれに相当するカーネル 2.6 以降の x86/x64 系 Linux

制 限 事 項

◇ バイナリー形式の DXF フォーマットには対応していません。
◇ R12J、R13J、R14J、AutoCAD 2000、AutoCAD 2004 形式のデータに対応しています。ただし、AutoCAD2004 以降で追加された図形には対応していません。
◇ 2 次元データのみ対応しています。3 次元データには未対応です。
◇ 文字のフォント名称、反転は未対応です。ただし、XY 両方向の同時反転のみ対応します。
◇ 特殊文字は未対応です。
度(°)、±、%、直径(φ)、アスキー記号、オーバーライン、アンダーラインは対応可能です。
◇ シェイプファイル(拡張子 SHX のフォントファイル)の変換に対応しています。
・ シェイプファイルは、変換環境に存在している必要があります。指定されたシェイプファイルが無い場合には、bigfont.shx、txt.shx を使用します。
・ シェイプファイルの文字幅/高さの編集はできません。
・ サポートしているシェイプファイルは「Unifont1.0、bigfont1.0、shapes1.1」です。
・ シェイプファイルを使用した文字列のベクター変換において、文字列傾斜には対応していません。指定されている場合、0 度として変換します。
◇ モデル空間のみ対応しています。ペーパー空間(レイアウト)には未対応です。
◇ ポリラインのメッシュ処理は未対応です。ただし、幅付きデータは開始点の線幅を利用します。
（ただし、出力フォーマットに依存）
◇ 線種パターン長は有効ですが、パターンは出力フォーマットにより異なる場合があります。
◇ ユーザ定義の寸法線は未対応です。
◇ 拡張データ、XRECORD(拡張レコード)は未対応です。
◇ R13J 以上のコマンドの中で下記コマンドは未対応です。
3DFACE、BODY、OLEFRAME、REGION、3DSOLID、OLE2FRAME、VIEWPORT
◇ R14J 以上のコマンドの中で下記コマンドは未対応です。
IMAGE、ACAD¥_PROXY¥_ENTITY、WIPEOUT
上位バージョンから下位バージョンのデータに保存したり、通常版の AutoCAD 以外(Mechanical など)のデータを保存したりすると、保存するバージョンにない要素が ACAD¥_PROXY¥_ENTITY となる場合があります。
◇ OLE 等を使って貼り付けたデータ(MS-WORD、MS-EXCEL 等)は未対応です。
◇ HATCH データの島形状処理では、SOLID パターンは最外郭で処理します。
それ以外のパターンは 2 重の島形状まで対応します。
◇ 外部参照データについて、イメージファイルのみ可能で、ブロック図形の外部参照(ファイルをリンク参照)は未対応です。
◇ RAY、XLINE について、図面範囲の最大/最小で切断し、線分で出力します。
◇ 押し出し方向の指定には、対応していません。
◇ 円弧の始終角が同一の場合データを削除します。
◇ AutoCAD 独自の線種には対応していません。
(BATTING、FENCELINE1、FENCELINE2、GAS LINE、HOT¥_WATER¥_SUPPLY、TRACKS、ZIGZAG)
◇ MTEXT 以外の文字での制御コード(上線、下線)については対応していません。
◇ SPLINE の変換結果は、AutoCAD 画面上に表示される画と、必ずしも一致するとはかぎりません。
◇ マルチテキスト(MTEXT)の制限を以下の通りとします。
・ 文字幅については未対応です。
・ 文字列の中央揃え、右揃えのときの文字位置は必ずしも一致するとはかぎりません。
・ 縦方向の位置あわせは中央に固定して出力します。
・ フォントの幅高の違いにより、自動改行の位置や、文字出力位置は必ずしも一致するとはかぎりません。
・ 上下複数行表記は可能ですが、行間隔には未対応のため、上下の文字位置については、入力データと異なる場合があります。
・ 縦書きの場合、一行で、かつ一定の条件で書かれたもののみ対応します。
・ 複数行のときに改行のみの文字列が含まれる場合や分子や分母に文字列が存在しない分数を含んでいる MTEXT の場合は、文字の出力位置が AutoCAD 上の表示位置とは一致しません。
◇ AutoCAD で扱うことのできない図形データについては、データを無視して変換します。